

経営比較分析表（平成29年度決算）

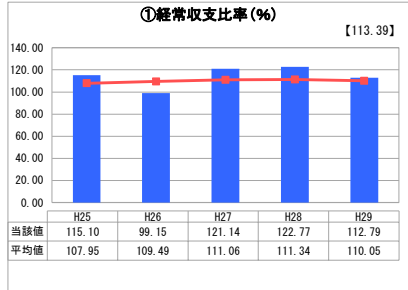
岐阜県 池田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	81.33	81.89	3,240	

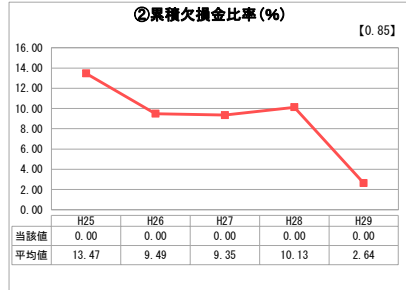
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,231	38.80	624.51
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
19,403	20.12	964.36

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

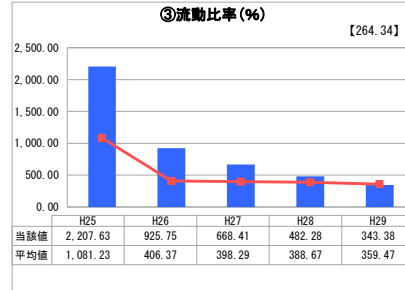
1. 経営の健全性・効率性



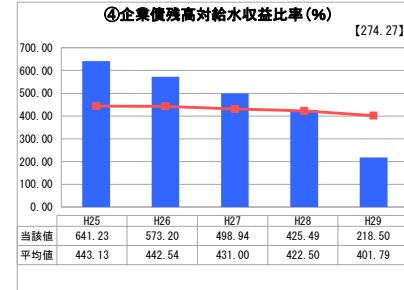
「経常損益」



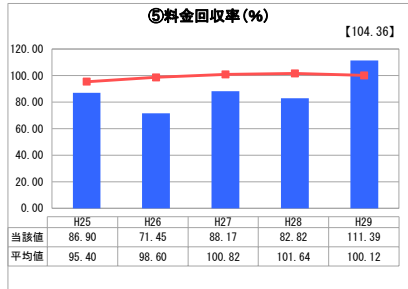
「累積欠損」



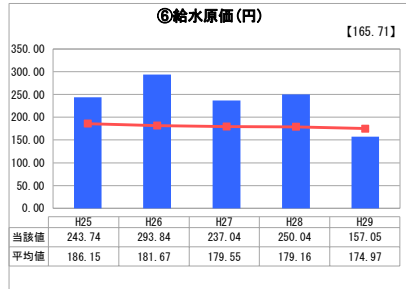
「支払能力」



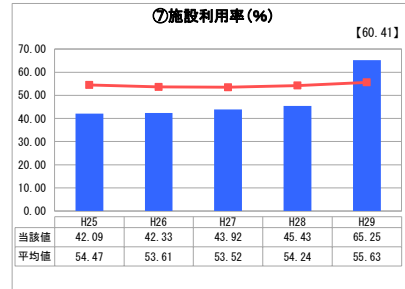
「債務残高」



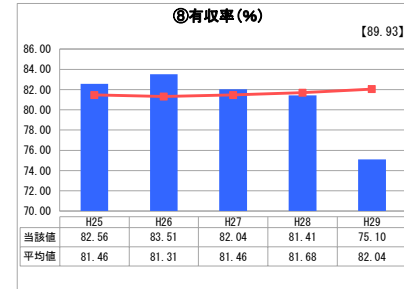
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

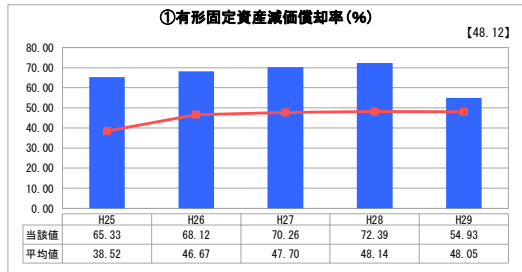


「施設の効率性」

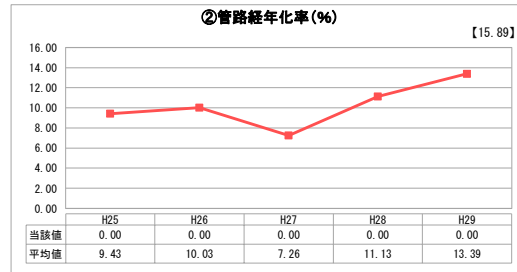


「供給した配水量の効率性」

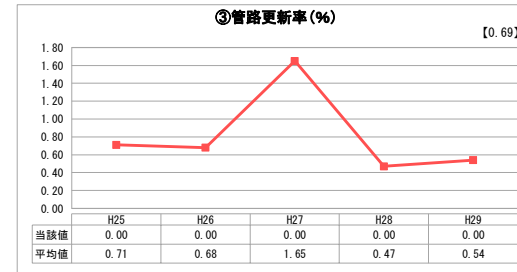
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は概ね良好であり、経営の健全性・効率性は保たれているといえる。上水道に簡易水道を統合したため、料金回収率や施設利用率は向上しているが、旧簡易水道エリアでの漏水が多く有収率が低下している。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を経過した管路がないため、管路の更新は行っていない。管路の多くは創設当初のものであり、更新が必要になるのは約10年後に集中する。簡易水道との統合時電機・機械設備等は一部更新している。

全体総括

比較的健全経営を実現できているといえる。しかし有収率が類似団体の平均を下回っており、施設の稼働状況が収益に反映されていない。この要因は漏水であり、特に旧簡易水道エリアの管路で漏水が多い。そのため漏水対策が重要な課題である。経営戦略の内容を基に、計画的かつ合理的な経営を行い、持続可能な経営体制を目指す。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の実績数を基に類似団体平均値を算出しています。